

令和4年度第5回理事会議事録

一般社団法人
静岡県建設コンサルタンツ協会

1 開催日時 令和4年11月30日(金) 15時00分開会 16時30分閉会

2 開催場所 協会会議室

3 理事会開会

(1) 出席した役員等の氏名

理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修
齋 秀之 浅岡諭志 小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明
監事 杉山 博 亀谷寧一
事務局長 石原敏男

(2) 理事会成立の報告

事務局から、理事9名のうち9名全員が出席しており、定款第36条に基づき理事会は成立するとの報告が行われた。

(3) 議事録署名人の選任

事務局から、議事録署名人は定款第37条の規定に基づき出席した会長及び監事となる旨を説明するとともに、議事録作成後の記名押印を依頼した。

(4) 会長挨拶

議事に先立ち、森崎会長から挨拶が行われた。

(5) 議長選出

定款第35条の規定に基づき森崎会長が議長に就任した。

4 議 事

(1) 令和4年度委員会等の事業

ア 総務委員会等

令和5年年頭の事業

事務局から、令和5年の年頭（令和5年1月20日）に予定している行事計画（建コン協会第6回理事会、政治連盟第1回役員会、政治連盟通常総会、建コン協会新春講演会、建コン協会新年賀詞交歓会）について説明が行われるとともに、新型コロナウイルスの感染動向を踏まえた実施方針についての協議があった。

役員で協議の結果、予定どおり令和5年1月20日に中島屋グランドホテル等において開催することとし、準備を進めることが決定された。

なお、計画された事業については、今後の新型コロナウイルス感染拡大の動向を見極めながら、令和5年1月上旬において開催の可否や参加対象者などについて最終的な判断を行うこととされた。

イ 企画広報委員会

(ア) 静岡県交通基盤部との意見交換会

事務局から、県交通基盤部との意見交換会について、令和4年10月12日に中島屋グランドホテルにおいて、県側から森本理事など18名、協会側から森崎会長など11名、計29名が参加して開催されたとの報告があり、協会で作成した当日の議事録が配布された。

なお、議事録については、内容を確認の上、意見等のある場合には事務局あてに連絡を頂くよう依頼が行われた。

事務局からの報告後、意見交換会に出席した役員から感想が述べられた。

(イ) 静岡県経済産業部農地局との意見交換会

事務局から、県経済産業部農地局との意見交換会について、令和4年11月18日に中島屋グランドホテルにおいて、県側から田保農地局長など8名、協会側から森崎会長など9名、計17名が参加して開催されたとの報告があった。

また、当日の議事録については現在取り纏め中であり、今後、役員に確認を行って頂く予定であるとの補足説明があった。

事務局からの報告後、意見交換会に出席した役員から感想が述べられるとともに、台風15号に伴う業務の一時中止措置や事故繰越などについて意見交換が行われた。

ウ 技術委員会

(ア) 農林・環境部会現地研修会

事務局から、農林・環境部会の事業として、令和4年10月21月に「再生可能エネルギー」をテーマとして、「長泉町小水力発電所」、「南足柄市文命用水小水力発電所」、「沼津市戸田饗の里小水力発電所」の現場視察研修会を開催し、全体で14名が参加したとの報告があった。

台風15号の影響（被災対応）による業務多忙のために、やむなく参加を取り止めた者も多く、当初の予定より参加者が少なかったとの補足説明があった。

事務局からの報告の後、農林・環境部会の部会長である浅岡理事から、研修会の具体的な実施状況について説明があった。

(イ) 第18回技術研究発表会

事務局から、令和5年度の「第18回技術研究発表会」について、令和5年7月7日に静岡県コンベンションアーツセンター「グラシップ」を会場として、会場受講とWEB受講の併用方式により開催を予定しているとの報告があった。

また、技術発表（協会会員会社職員）、特別発表（官公庁職員）、特別講演（学識経験者）の発表者などについては、今後、技術研究部会で選定作業を進め、令和5年3月の第7回理事会で承認を頂く予定であるとの補足説明があった。

エ その他

(ア) (一社) 全国建設コンサルタント業協会連合会意見交換会

事務局から、(一社) 全国建設コンサルタント業協会連合会の意見交換会が令和4年11月16日、本県、茨城県、埼玉県、神奈川県、千葉県の各協会から21名が参加して3年振りに開催され、当協会から森崎会長、芹澤副会長、小田理事、牧田理事が出席したとの報告があった。

事務局からの報告の後、出席した役員などから感想が述べられ、「本県は他県に比べて県内業者の受注率が高い」、「社員の半数が感染した会社があり新型コロナの影響が多大」、「全国団体としての組織の強化が必要」などの発言があった。

(イ) (株) アクトの入会

事務局から、令和4年3月末をもって当協会を退会した(株) アクトから再入会の意思が表明されているとの報告が行われるとともに、入会金等の対応について協議があった。

また、森崎会長からも(株) アクトの退会及び再入会の申し出に至る経過について説明があった。

役員で協議の結果、当協会の「会費及び入会金等に関する規程」の改正等について事務局で検討を行うこととし、この結果を踏まえて、令和5年1月20日に臨時総会を開催して、当該規程の改正について諮る方針が整理された。

(ウ) 令和4年度収支決算見込み

事務局から、本年度末の収支決算見込みについて報告が行われ、収入については予算額の1,623万円に対して1,624万円となり予算額と同程度の収入が見込まれること。また、支出については予算額の1,623万円に対して1,440万円となること。この結果、収入合計から支出合計を差し引いた実質的な残額は180万円程度となること。期末の積立金は920万円程度となることなどについて説明があった。

(エ) 木犀会世話人による出先機関への要望活動

事務局から、木犀会世話人による県出先機関（土木事務所、農林事務所等）に対する本年度後期の要望活動が令和4年10月31日から11月9日までの間に5回行われ、「台風15号に伴う業務の一時中止措置」、「適正な工期の確保と繰越等の柔軟な対応」などに関する要望が行われたとの報告があった。

(2) 行政機関等への協力事業

ア 静岡どぼくらぶフォトコンテスト 2022

事務局から、県交通基盤部が主催し、当協会が共催及び審査に協力している「静岡どぼくらぶフォトコンテスト 2022」について、令和4年11月8日に表彰式が開催され、森崎会長が出席するとともに、建設コンサルタンツ協会会長賞を授与したとの報告があった。

なお、「建設産業の部」の優秀賞は、当協会の会員である静岡コンサルタン卜株式会社の社員が受賞したとのへ補足説明があった。

イ 静岡県農地技術研究発表会の開催見送り等

事務局から、県経済産業部が例年開催し、当協会会員会社の社員が特別講演（技術発表）を行っている農地技術発表会について、令和4年9月の台風15号による影響（被災対応）のため、本年度は県職員のみでの開催となったとの報告があった。

また、県交通基盤部が例年開催している土木技術発表会についても、県経済産業部と同様の理由（台風15号による影響）により、本年度の開催は中止となったとの報告があった。

ウ 静岡県の台風15号に伴う工事及び業務の一時中止措置

事務局から、県（交通基盤部、経済産業部農地局・森林林業局）が関係出先機関等（土木事務所、農林事務所等）あてに、台風15号に伴う工事及び業務の一時中止措置に関する通知を発出した旨の通知が、当協会あてに行われたとの報告があった。

(3) 報告事項

ア 東海地区コンサルタンツ連絡会議

事務局から、東海地区コンサルタンツ連絡会議について、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、令和2年度、3年度に引き続き、本年度の開催は中止となったとの報告があった。

イ 令和4年度独占禁止法遵守研修会

事務局から、令和4年度独占禁止法遵守研修会が、当協会を含む関係4団体（当協会、測量設計業協会、地質調査業協会、補償コンサルタント協会静岡県部会）の共催により、令和5年1月17日に開催される予定であるとの報告があった。

議長は、議事運営に対する各理事、監事の協力に謝辞を述べ、第5回理事会を16時30分に閉会した。

以上の議事の経過及び結果を明らかにするため、議事録を作成し、定款第37条に基づき、議長及び出席した監事が記名押印する。

令和4年11月30日

議長・代表理事 森崎祐治 ⑩

監事 杉山博 ⑩

監事 亀谷寧一 ⑩